

上村松園 松篁 淳之

三代展

東京富士美術館 音楽コンサート

徳山美奈子ピアノ作品コンサート

上村松園の絵に基づく「序の舞」「花がたみ(世界初演)」他

日時：2020年3月21日(土) 14:00から1時間程度(開場は30分前)

※本イベントは新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、「中止」となりました。

会場：東京富士美術館 本館・ミュージアムシアター

料金：無料(ただし、展覧会の入場料金が必要です)

申込：不要。定員200名 ※当日12:30より、シアター入口にて入場整理券を配布(お一人様1枚配布)

出演：徳山美奈子(作曲家、ピアニスト)

内容：日本を代表する女性作曲家でピアニストの徳山美奈子さんが、当展覧会のために、上村松園・松篁・淳之三代の『絵に基づくピアノ作品(4曲)』を作曲。当日は、絵の背景や曲目解説などトークを交え『世界初演』します。凛とした気高さと温もりに満ち溢れたピアノ作品コンサートに、ご期待ください。

曲目：上村松園「序の舞」「蛩」「花がたみ」、上村松篁「樹蔭」、上村淳之「晨(しん)」、「シャボン玉・ふるさと(編曲/徳山美奈子)」、「ムジカ・ナラ」※曲目・曲順は、当日変更となる場合があります。予めご了承ください。

徳山美奈子(作曲家、ピアニスト) Minako TOKUYAMA



■日本を代表する女性作曲家。東京芸術大学、ベルリン芸術大学卒業。作曲を池内友次郎、矢代秋雄、尹伊桑(ユン・イサン)の各氏に師事。

■1990年、イタリア・ブッキ国際作曲コンクールディプロム入選。1992年、笙とハープのための音楽「ファンタジア」で第5回福井ハーブ音楽優秀作曲賞を受賞。

■1995年、友人のイエルク・バウマン氏(ベルリン・フィル首席チェリスト)の死を悼んで着想した「バレエのための室内管弦楽曲『メメント・モリ(死を想え)』」で、クラウディオ・アバド氏が音楽監督を務める「ウィーン国際作曲コンクール(1997年度)」にて第1位優勝(日本人初)。1996年、受賞作が「ウィーン・モデルン音楽祭」にてオーケストラ初演され、翌1997年には「ウィーン国立歌劇場バレエ団」により振りつけられ、舞台上演(6日間公演)された。

■代表作は、2006年第6回浜松国際ピアノコンクール第二次予選委嘱作品「ムジカ・ナラ」、2017年第29回日本ハーブコンクールの課題曲となった「オリエンタルガーデン」等がある。その凛として優美な作風は、吉野直子・福岡洸太郎氏を始め、多くの演奏家に愛され、国内外にて多数の「再演」を重ねている。

■2018年6月、ピアニスト福岡洸太郎氏より委嘱された、新作「序の舞～上村松園の絵に基づく～」を発表。以降、日本はもとよりドイツ・フランス・スイス・ブルガリア等、世界各国で演奏され好評を得ている。フランスのル・モンド紙には「絹のように繊細な音楽」と評された。

■ピアニストとしても活動し、作曲家自身がトークを交えて演奏する「徳山美奈子ピアノ作品コンサート」を開催している。

■2013年には、国立女性会館主催「音楽と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ」展にて、「今を輝く」女性作曲家として紹介された。

■2003年・2004年、日本音楽コンクール作曲部門審査員。2013年より、厚生労働省社会保障審議会専門委員(舞台芸術委員)も務めている。徳山美奈子ホームページ：<http://minakotokuyama.sakura.ne.jp/>